

提 言 書

「新未来『創造』とくしま行動計画」
の評価結果及び「県民からの優れた
意見・提言」について



平成29年11月

県政運営評価戦略会議

は じ め に

県政運営評価戦略会議（以下「戦略会議」という。）では、「新未来『創造』とくしま行動計画」（以下「行動計画」という。）の主要施策を評価の対象としており、今年度は、成果重視の中間評価として実施することとし、「平成27年度及び平成28年度の取組及び進捗状況」と「今後の取組方針」の2つの視点から評価するとともに、行動計画の深化につながるよう、戦略会議の委員の提言に重きを置いた「未来志向型の政策評価」として実施しました。

また、とくしま目安箱などに寄せられた「県民からの意見・提言」についても戦略会議で審議し、県の施策に反映すべき優れた意見・提言として10件を選定いたしました。

これらの評価結果等について、提言書として取りまとめましたので、徳島県総合計画審議会において、速やかに御協議いただき、進化する行動計画として「既存事業の見直し」や「新たな施策・事業の展開」につなげていただきたいと思います。

平成29年11月15日

県政運営評価戦略会議
会 長 石田 和之

目 次

I	行動計画の評価について	1 頁
1	評価方法について	1 頁
(1)	評価対象	1 頁
(2)	評価の視点	1 頁
(3)	評価基準	1 頁
(4)	評価手順	1 頁
(5)	戦略会議の開催状況	1 頁
2	評価結果について	2 頁
(1)	総括	2 頁
(2)	基本目標ごとの意見・提言	3 頁
(3)	行動計画への反映について	5 頁
II	「県民からの優れた意見・提言」の採択について	6 頁
(参考)	委員名簿	8 頁
(別冊)	「新未来『創造』とくしま行動計画」 主要施策等評価シート	

I 行動計画の評価について

1 評価方法について

(1) 評価対象

行動計画に位置付けられた主要施策（144施策）を対象とした。

(2) 評価の視点

今年度は、計画の前半2年間で終了したことから、成果重視の中間評価として実施することとし、「平成27年度及び平成28年度の実績及び進捗状況」と「今後の取組方針」の2つの視点から評価するとともに、行動計画の深化につながるよう、戦略会議の委員の提言に重きを置いた「未来志向型の政策評価」として実施した。

(3) 評価基準

評価については、次の区分を基本に、評価会議における委員協議の結果を踏まえて、A、B、Cの3段階で評価した。

A：順調、B：概ね順調、C：要見直し

		平成27・28年度の実績及び進捗状況		
		良好 (☆☆☆)	概ね良好 (☆☆)	不十分 (☆)
今後の取組方針	妥当	A	B	C
	概ね妥当	A	B	C
	不十分	B	C	C

(4) 評価手順

あらかじめ担当部局が作成した主要施策ごとの「評価シート」に基づき、戦略会議の委員の代表者が作成した「評価案」について会議の場で議論し、「評価結果」として取りまとめを行った。

(5) 戦略会議の開催状況

次のとおり、3回に分けて開催した。

日 程	評 価 対 象
8月16日（水）	基本目標1及び2
8月22日（火）	基本目標3及び4
8月25日（金）	基本目標5、6及び7

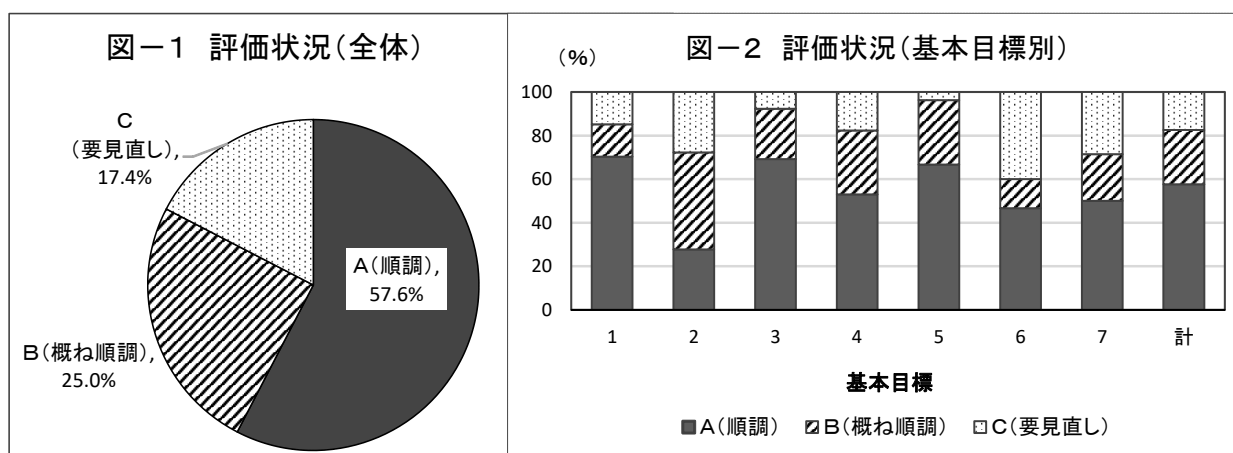
2 評価結果について

(1) 総括

戦略会議での評価結果は、
 「A（順調）」と評価されたものが83施策（57.6%）、
 「B（概ね順調）」とされたものが36施策（25.0%）、
 「C（要見直し）」とされたものが25施策（17.4%）
 となった。（表－1）

表－1 主要施策の評価結果

基本目標	評価区分						主要施策数の計
	A 順調	(%)	B 概ね順調	(%)	C 要見直し	(%)	
1 「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現	19	70.4	4	14.8	4	14.8	27
2 「経済・好循環とくしま」の実現	5	27.8	8	44.4	5	27.8	18
3 「安全安心・強靱とくしま」の実現	18	69.2	6	23.1	2	7.7	26
4 「環境首都・新次元とくしま」の実現	9	52.9	5	29.4	3	17.7	17
5 「みんなが元気・輝きとくしま」の実現	18	66.7	8	29.6	1	3.7	27
6 「まなび・成長とくしま」の実現	7	46.7	2	13.3	6	40.0	15
7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現	7	50.0	3	21.4	4	28.6	14
計	83	57.6	36	25.0	25	17.4	144
参考 H28年度の評価結果	105	73.0	29	20.1	10	6.9	144



(2) 基本目標ごとの意見・提言

144の「主要施策」の評価に加え、7つの「基本目標」ごとに、次のような意見・提言がなされた。

基本目標1 「ふるさと回帰・加速とくしま」の実現

- 徳島阿波おどり空港の国際ターミナル機能の活用を具体的にぜひ進めてもらいたい。
また、徳島の観光の魅力をもっと引き上げる施策を進めつつ、国際ターミナル機能を活用して、海外からの観光客を増やすという両面の施策にしっかり取り組んで欲しい。
- 都市圏に住んでいる高齢者は、既に自宅を購入していることなどから、地方への移住希望があっても、なかなか移住できない方もいるので、週単位、月単位で地方に移住するような移住方法の提案や、空き家の活用と併せた取り組みの提案を行ってもよいのではないか。

基本目標2 「経済・好循環とくしま」の実現

- 東京オリンピック・パラリンピックの公式エンブレムにジャパンプルーが採用され、急速に徳島の藍を国内外に発信しようと、色々な取り組みが出てきている。
こうした状況を踏まえ、「行動計画」のブランド化関連戦略において、徳島の藍や、藍関連産業のブランド化に関する施策にしっかりと取り組んで欲しい。
- 「阿波ふうど」という言葉がとても良く、ロゴマークも素晴らしい。これを阿波の食（フード）だけではなく、風と土で「阿波風土」として、観光分野で、さらには文化分野でも全面的に活用して、徳島県を売り込んでいくことができれば、素晴らしい取り組みになるのではないか。

基本目標3 「安全安心・強靱とくしま」の実現

- 消費者庁の徳島誘致は、この3年間の成果によって決まることから、消費者庁誘致の関連施策は、特に他の都道府県との比較を意識して、「徳島は、はるかに進んでいる」と言われる目標を掲げて、しっかり取り組んで欲しい。
- 交通渋滞対策として、車の量を減らすことに着目すると、公共交通の利用に繋がっていく。この点を考えると、「都市部における渋滞対策の推進」施策と「公共交通の維持・発展」施策をいかにリンクさせるのかとの観点で、行動計画の中でしっかり施策を作ってもらいたい。

基本目標4 「環境首都・新次元とくしま」の実現

- 中山間地域のこれからの持続を考えた場合、「エネルギーの地産地消」の推進や、「自立分散型エネルギー」の推進といった施策自体が、スマート社会の構築に繋がる施策になることから、こうした施策とスマート社会の取り組みをうまくリンクさせていくべきではないか。
- 自然の再生、森づくりに繋がる植樹活動といったプロジェクトを進める場合には、水産関係者にも声掛けしていただけると、より広がりのある取り組みになるのではないか。

基本目標5 「みんなが元気・輝きとくしま」の実現

- 「みんなが元気で輝く」ためには、施策の根本に県民の誰1人とも孤立させないとの気概を持って、きめ細やかに各種の対策を講じていくことが肝要であり、計画目標に対し、現状では実績が下回っている施策については、こうした観点で事業手法などに改善の余地がないか、しっかり点検してもらいたい。
- 今後さらに超高齢社会が進行していく中で、誰もが元気な地域づくりに繋げていくためには、後期高齢者でも頑張っておられる方々に、何らかの形でスポットを当てる取り組みも必要ではないか。

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

- グローバル人材の育成に向け、興味を持った児童生徒が、各自の習熟段階に応じてステップアップしていける「徳島ならではのシステム」の構築を検討して欲しい。
- 国際的かつローカル（グローカル）な人材の育成が重要であり、子ども達が、徳島に関する色々な知識や情報をもっと学べる小学校からの教育が必要ではないか。
また、こうしたグローカルな人材育成の手法として、いわゆるアクティブシニアと言われる皆さんに御協力をいただき、その知見を活かすことも有効ではないか。

基本目標7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

- 総合型地域スポーツクラブを、地域単位でのスポーツ活動の母体として、機能強化に取り組みれば、スポーツの振興や、各競技種目の競技人口の拡大のみならず、徳島のスポーツ全体の成績を向上させる効果も期待できるのではないか。
- 宿泊者数の増加に向け、とくしまマラソン終了後に色々なイベントを開催しているが、もう一工夫したイベントが充実すれば、「もう一泊」に繋がるのではないか。

(3) 行動計画への反映について

平成27年度に策定された「新未来『創造』とくしま行動計画」は、今年度が計画2年目の評価であるが、2頁に記載のとおり、144の主要施策のうち、A評価（順調）又はB評価（概ね順調）が119施策と全体の8割を超えており、計画期間の折り返しを過ぎた段階として、まずまず順調に推移していることは、評価できる。

一方、「成果重視の中間評価」として実施したため、「見直し」が必要なC評価（要見直し）が25施策・17.4%にまで増加したことは、率直に受け止めてもらいたい。

今後、スピード感を持って早期に主要施策の目標を達成するため、計画目標に対し、現状では実績が下振れしている施策を中心に、事業手法などに改善の余地がないか、計画の中間年次を経過した今こそ、しっかりと点検し、全庁一丸となって、積極果敢に取り組むことを期待する。

なお、今年度の戦略会議における評価も、戦略会議の委員の意見・提言に重きを置いた「未来志向型の政策評価」として実施したところ、その定着が図られ、A、B、Cの評価の判定に係る意見にも増して、施策の進捗に向けた糸口ともなり得る前向きな意見・提言が8割を超えるなど、大半を占めた。

基本目標ごとの意見・提言は、3頁から4頁に記載のとおりであり、評価単位である主要施策に対する意見・提言は、別冊の「新未来『創造』とくしま行動計画 主要施策等評価シート」の委員意見の特記事項の欄のとおりである。

行動計画における事業の見直しに際しては、これらの意見・提言を十分に検討していただきたい。特に、C評価を受けた主要施策については、取組内容、課題把握、今後の取組方針など施策全般を通じて、今一度、県民目線・現場主義に立ち返り、しっかりと見直しに取り組み、活路を切り開いて欲しい。

また、数値目標の設定等について、次のような意見が出されたので、行動計画の見直しにあたって、留意していただきたい。

- ・ 数値目標については、成果目標で判断できるものをもう少し増やして欲しい。また、例えば、「イベントを何回開催する」といったプロセス目標の場合、実際にそれができて、今後の取り組みや成果として、どのように表れているかを示してもらいたい。

Ⅱ 「県民からの優れた意見・提言」の採択について

平成28年7月から平成29年6月までに「とくしま目安箱」に寄せられた意見・提言等
 で出された意見の中から、次の10件を「県民からの優れた意見・提言」として採択した。
 これらの意見・提言について、その趣旨を十分に踏まえ、できる限り施策等に反映して
 いただきたい。

戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

	提言先	項目	意見・提言の内容
1	目安箱	新たな観光スポットのアピールを	徳島をもっと観光客に紹介し滞在してもらうために、新たな観光スポットをアピールしていくべき。候補としては南阿波サンライン・吉野川第十堰・磐境神明神社 <small>いわさかしんめい</small> などが考えられる。南阿波サンラインから見える太平洋と千羽海崖の絶景は、他県では見る事ができないほど素晴らしい。第十堰は江戸時代に造られており、これも他県では見る事ができない。また美馬市の磐境神明神社には、ソロモン大王の失われたアーク伝説がある。
2	目安箱	徳島空港の新規路線の誘致について	徳島空港を便利に使わせて頂いているが、新規路線として、小型機等で、徳島空港と那覇空港/新千歳空港への定期便の就航依頼を行ってはどうか。 特に那覇空港は、文理大学には沖縄出身の学生が多いと聞き、沖縄旅行へ行くために高松空港/神戸空港/伊丹空港/関空を利用していく県人も多い。県立高校の修学旅行での活用推進とセットで誘致活動を行えば就航可能な気もするので、ぜひ誘致活動の程お願いしたい。
3	目安箱	震災時の情報収集のためのSNSの構築とシミュレーション	震災時にはSNS・インターネットが自治体と避難所、自治体と個人、避難所と個人を結ぶ大きな力を発揮すると思われるため、特に中高校生に、SNSを使った避難所運営の練習をしてもらいたい。 県が専用のSNS、災害用HPを開設し、練習用ページを使っでの体験・練習を普段の学校の授業でやっておくことで、避難所生活が始まった時、避難所に来る子には実際に情報収集係になってもらえるし、避難所に来ない世帯でも情報が届きやすいと思う。
4	目安箱	東京五輪に向けたキャンプ地誘致を	東京五輪のキャンプ地誘致活動で、徳島の県や市町村の友好州・県・都市に向けたPR活動が必要。サッカースタジアムを有する鳴門には世界的にも強豪のブラジル(県)、ポルトガル(徳島市)、ドイツ(県・鳴門市)の誘致を目指すべき。 また、野球の町を目指す阿南市に世界の野球代表団を誘致すべき。 とりわけ、台湾、香港、中国、シンガポール、タイ、韓国等の練習地として徳島を選んでもらうことで、アジア各国のマスコミも集まることから徳島の魅力を発信できるものと思われる。

	提言先	項目	意見・提言の内容
5	目安箱	環境・省エネ対策で、東京に対抗しよう	<p>東京都が、家庭の白熱電球とLED電球を交換するという取組を発表した。スマートエネルギー都市と題し、環境に優しい都市作りを目指しているようだ。</p> <p>LEDと言えば、本県も「ご当地」と言って良いくらい関連があることから、東京に対抗して、LED製品購入の補助制度を作ってみてはいかがか。</p>
6	目安箱	新産業の創出を	<p>米国ワシントン州は、ベンチャー企業に対して、「技術コンテスト」を導入し、「優勝者には、地元には本社を置くか、工場を作ることを条件に、工場建設資金か、製品の量産化の設備投資の資金を、10億円程度、提供する」ことを実行した結果、マイクロソフト社や、アマゾンドットコム社などの、優良企業が誕生した。民間投資ファンドや総合商社などと連携して、「技術コンテストを開催」して、新産業を創出するべき。</p>
7	目安箱	新農業戦略の構築に向けて	<p>近い将来、日本の最大のリスクは、少子高齢化が加速度的に進み、企業は言うに及ばず、国力が衰退する懸念が高まっていると言われている。中でも農業は近代化が遅れているため、産官学一丸となって農作業のAIロボット化に向けて研究、開発、実用化に、人材、組織、エネルギーを投入して、作業のスピード化、安全化又コストダウンを図って欲しい。</p>
8	目安箱	四国4県サイクル王国化～通勤者が語る徳島はこうしてほしい～	<p>現在建設中または運用中の徳島高速道路の土手際に夢の自転車道を併走整備してほしい。</p> <p>自転車通行は車道の路側帯を左側通行するというルールがあるが、車道は大型車の運行が多くて狭く、歩道は凹凸が多く、砂利でたまにタイヤをとられてしまうこともあり、身の危険を感じる主要道路が多い。</p> <p>高速自動車道の併設道は利用価値の高い、「夢の道」だと現場を見ていつも思っている。</p>
9	目安箱	秋のイベントについて	<p>徳島は春・夏と大きなイベントが開催され、県外から多数の方が観光に来ているが、秋冬には何も無い。</p> <p>そこで、秋に県を挙げての「徳島収穫祭」なるものを提案する。</p> <p>海産、畜産、米に野菜。徳島の名産を1日で色々食べられるイベントはいかがか。</p>
10	目安箱	徳島マラソンについて	<p>マラソンのコース幅が狭いとか、景色が単調であるとの評価も見受けられる。</p> <p>そこで、県庁を起点として今の(川)コースに加え、神山梅(山)コース、鳴門渦潮(海)コースを開設して、一年ごとにコースを変えて開催するというのはどうか。</p> <p>コースの設定が大変だと思うが、県外からの参加者も増え、長年愛されるマラソンとなると思う。</p>

(参考)
委員名簿

	氏 名	現 職 等
会 長	石田 和之	徳島大学大学院 教授
副会長	阿部 頼孝	徳島文理大学短期大学部 教授
委 員	伊庭 佳代	(一社) 美馬青年会議所 専務理事
〃	植田 美恵子	徳島女性農業経営者ネットワーク顧問
〃	加藤 研二	阿南工業高等専門学校 准教授
〃	近藤 明子	四国大学 准教授
〃	坂本 真理子	NPO法人郷の元気 副代表理事
〃	田村 耕一	(公財) 徳島経済研究所 顧問
〃	鳴滝 貴美子	和田島漁業協同組合女性部 部長
〃	南波 浩史	徳島文理大学 教授
〃	久岡 佳代	かいふ木の家 事務局長
〃	藤原 学	(一社) 徳島県労働福祉会館 理事長
〃	榊本 久実	税理士
〃	三木 潤子	ロイヤルセラピスト協会指定スクール みきはうす経営